



泌尿器科通信 vol. 3 2017. 11 発行



こんにちは、泌尿器科外来です。暦の上では、冬となりました。皆様、体調はいかがでしょう？
今回は、寒い時期に起こる泌尿器科疾患の症状をお伝えしたいと思います。

これからの時期、年末、年始にかけてお酒の席が増えたり、寒くなり体調をくずしやすくなります。

風邪をひいたときはどうしますか？

ドラッグストアに行って風邪薬を買ったり、病院にかかったりするでしょうか？

実は、お酒を飲んだり、風邪薬を飲んだりしたときに、突然尿が出なくなることがあります。



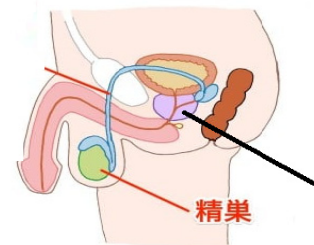
このような症状を『**尿閉（にょうへい）**』と言います。

『尿閉』とは、膀胱にたまっている尿を、自力で排泄できない状態をいいます。

尿閉になる原因と、原因となる病気についてお伝えします。

●薬が原因でおこる。自律神経を刺激するため、膀胱の排出力を弱めるとともに、尿道を狭く収縮し、尿の出を悪くする作用があります。例) 風邪薬、眠剤、精神科薬を飲んだ場合

●多量の飲酒でおこる。前立腺がアルコールの刺激で血流がさらに良くなることで、うっ血し前立腺が腫れて尿道を圧迫してしまいます。



前立腺

●便秘でおこる。便が直腸にたまることで尿道を圧迫して尿がでにくくなります。

便秘は男女ともに尿閉のリスクになります。男性で、前立腺肥大症がある方は、尿閉のリスクが高まりますので、ご注意ください。



疾患は、前立腺肥大症・尿路悪性腫瘍（癌）・神経因性膀胱などがあります。

症状をお伝えします

①急に尿が出にくくなり、トイレの回数が頻回で、尿は出ているが、又すぐにトイレに行きたくなる。

②下腹部が張っていて、尿が残っている感じ。

③下腹部痛があり、冷汗が出る。

①～③の症状があるときは、先ず、尿を出すことが先決になりますので、早急に泌尿器科外来に受診することをお勧めします。

落ち着いたら、医師とよく相談して、尿が出ない原因がなにかを検査して治療をすることが大切です。

